

【日本の大学】第100回—桜美林大学：キリスト教精神に基づき国際人育成

桜美林大学は東京都の西部、町田市に本部を置き、「キリスト教精神に基づく国際人の育成」を掲げて、1966年に設立された私立大学である。開学時、文学部の英語英米文学科、中国語中国文学科の1学部2学科でスタートしたが、現在は、学部ではなく学群制度を取り入れ、リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群など7学群と、大学院は7学位プログラムで構成される総合大学となっている。グローバル人材の育成に力を入れており、外国からの留学生を多数受け入れ、キャンパス内では国際交流が活発に行われている。

大学は、第2次大戦後の1946年に認可された財団法人桜美林学園（高等女学校、英文専攻科）が、桜美林中学校（1947年）、桜美林高等学校（1948年）、桜美林短期大学（1950年）の開校、学校法人桜美林学園認可などを経て1966年に創設したものだ。学園の創立者は清水安三氏である。現在は、幼稚園の園児から大学、大学院の学生に至る1万人超が通う学園へと発展している。

学園や大学には「学而事人」というスクール・モットーがある。「学び続け、人や社会のために力を尽くし、感謝し、感謝される人間になりなさい」との教えであり、高い目標や基準を定めて懸命に取り組み、寛容で柔軟な思考を有し、困難にあっても前向きに捉え、夢や目的をあきらめず、強い信念を持って行動する自由自在な人間として生きることを求めている。



町田キャンパス

以下、桜美林大学のホームページなどを参照しながら大学の歴史や現況をみていこう。

大学の淵源は、1921年に清水が中国の北京朝陽門外に創設した崇貞学園にさかのぼる。清水は同志社大学の神学部を卒業後、宣教師として中国に渡り、貧しい子供たちを救う災童収容所を開設するなどの活動をするとともに、貧困に苦しむ女子を対象に崇貞平民女子工読学校（のちに崇貞学園に改称）を設立した。同学園は国籍を超えて門戸を開き、中国、日本、朝鮮半島の子供たちが分け隔てなく学べる学校として発展、1945年当時は、約700人の生徒が在学していたとの記録が残っている。



大学チャペル

名前も精神もオベリンに由来

清水は、崇貞学園開設の3年後、教育活動が軌道に乗り始めたとして米国への留学を決意し、米国オハイオ州オベリン・カレッジに入学。そこで、オベリン・カレッジの校名の由来であるフランス・アルザスの牧師であり教育者であったジャン＝フレデリック・オベリンの教育思想に出会ったという。

学園や大学のモットーとして大切にしている「学而事人」の教えは、オベリンが提唱した思想（Learning and Labor）に基づくものであり、大戦後、清水が設立した桜美林学園の名前もオベリンにちなんだものである。敗戦によってすべてを接収された清水は、帰国直後、偶然出会った賀川豊彦（キリスト教社会運動家、桜美林学園初代理事長）に現在施設のある

町田の地を紹介され、教育活動を再開することを決意した。

大学は1966年の設立時には文学部1学部2学科だったが、1968年に経済学部経済学科を開設、72年には経済学部商学科を増設、89年には国際学部国際学科を開設するなど拡大を続けた。その後も、大学院国際学研究科修士課程の開設（1993年）、大学院国際学研究科博士後期課程の開設（1995年）、経営政策学部ビジネスマネジメント学科を開設（1997年）、文学部に言語コミュニケーション学科、健康心理学科、総合文学科を増設（2000年）するなど、学部や大学院の増開設が相次いで実施された。



清水安三氏銅像

柔軟に学べる「学群制」を採用

現在、大学の教育の特徴となっている「学群制」が始まったのは、2005年で、総合文化学群を開設した。2006年には健康福祉学群とビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類を、07年にはリベラルアーツ学群を開設している。その後、総合文化学群を芸術文化学群に名称変更（2013年）、グローバル・コミュニケーション学群を開設（2016年）、航

空・マネジメント学群を開設（2020年）と続き、2023年4月からは、教育探究科学群教育探究科学群が開設されて計7学群となっている。

学群制をとっているのは、特定の分野だけでなく、隣接した分野も広く学ぶことができる仕組みであり、異なる分野の学問を柔軟に結び付けられる制度として「メジャー・マイナー制度」を取り入れている。自分の「学び」を自分でデザインすることを大切にしながら、しっかりとした専門性を身につけるという「学び」の仕組みを用意し、可能性を広げることを目指している。

リベラルアーツ学群では、さまざまな学問領域を自由に、そして積極的に学ぶことで、実社会で活躍し豊かな人生を送ることができる総合力のある人間の育成を目標にしている。1年次には「基礎教育科目」を通して自立した学習者としての自覚を持ち、出願時に選択した領域を中心に「基礎専門科目」などを履修する中で学びの足場を固める。2年次の秋学期にメジャー・マイナーの選択を行って、3～4年次には修了に向けて学びを深めていく。専攻演習（ゼミ）、サービ斯拉ーニング、卒業論文などを通して、自らの課題を発見し解決方法を考察する過程を経験し、学んだことを社会に活かすための探究力や実践力を身につける。



桜美林芸術文化ホール

グローバル・コミュニケーション学群は、グローバル化した社会の中で、言語の壁を超えた高いコミュニケーション能力と専門知識を活かして異文化間の懸け橋となり、コミュニティにおける欠かせない存在として、課題解決に向けて、共同作業の中で自己の役割を堅実に果たせる人材育成を図ることを目指している。入学時に英語、中国語、日本語の中から学

修を希望する主たる言語を選んで学びを深め、2年次には原則全員が1学期間(約15週間)海外留学するなど、複数の言語について高度なコミュニケーション能力を身につけるなど、語学力向上に力を入れている。何を学ぶのか三つの専修(パブリック・リレーションズ、言語探究、文化共創)を設けてそれぞれの専修で、専門科目を設けて専門性を深める。

ビジネスマネジメント学群は、理論教育と実践教育によって学びの水準を高めることを目標にしている。「英知」の吸収、「豊かな感性」の育成、「コミュニケーション能力」の向上を軸とした学びを展開する。さらに学外での研修・実習など、理論が現場でどう生きるのかを体感できる機会を充実させている。ビジネスに関する幅広い知識を獲得することを目指すビジネスマネジメント学類と、航空業界の幅広い仕事を志望する人を中心に航空や輸送に携わる「空のプロフェッショナル」を育成するアビエーションマネジメント学類の2学類がある。

健康福祉学群では、健康と福祉の基礎からメジャー・マイナープログラムによる専門性や広い視野を修得し、さらに知識と経験を融合させ、専門職や実践家としてのスキルを身につける。専攻として、スポーツ科学、健康科学、社会福祉学、精神保健福祉学、実践心理学、保育学の6専攻がある。



多摩キャンパス新棟

芸術文化学群は、「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアル・アーツ専修」という三つの専門分野で、表現のプロフェッショナルを育て、夢への扉を開く力を身につける。社会で活躍する“自立した人”を育てる総合的な人間教育も併せて行う。

航空・マネジメント学群は、国内外の航空会社の国内線・国際線を運航するプロパイロットとして活躍できる人材を育成するフライト・オペレーションコースと、航空管制やその他管制関連業務で活躍できる人材を育成する航空管制コース、航空機の調達、品質保証・管理など広く航空を支える人材を育成する整備管理コース、空港の航空部門と非航空部門を総合的に勘案し、運営や経営に必要不可欠な人材を育成する空港マネジメントコースの4コースがある。

教育探究科学群では、好奇心を広げ、思考力や課題解決力を身につけ、将来にわたって探究し続けるために必要な実践力を育成するようなカリキュラムをデザインしている。教育学の学びを深めるため、課題の設定・情報収集・まとめ表現などのリサーチスキルを少人数のクラスで学ぶ。



多摩キャンパス

国際化、人材育成に力点

大学では、国際化、グローバル人材の育成には特に力を入れており、海外から留学生や教員を積極的に受け入れている。また、毎年約800人の学生を海外に派遣していて、海外提携校は2022年7月現在、世界38か国・地域、186機関に上っている。5日～1年間の多様な

留学期間があり、40以上の豊富なプログラムを提供している。

海外からの留学生数は、中国・韓国を中心に25か国・地域から609人が学んでいる（2023年5月現在）。2005年に日本語文化学院（留学生別科）を開設、春入学、秋入学の2回募集を実施し、出願から徹底したサポートを行っている。入学後も基礎的・総合的な日本語学習や進学目的に合わせた目的別学習、個別対応型学習を実施している。学生のレベルや目的に合わせた授業を開講し、日本人学生のクラスゲスト、日本人チューターとの会話練習も行っている。

キャンパスは、本部のある町田キャンパスがメインキャンパスである。リベラルアーツ学群、健康福祉学群、グローバル・コミュニケーション学群のほか、心理学実践研究学位プログラム、国際学術学位プログラム（心理学研究領域）の施設があり、関連の学生が学んでいる。このほか、新宿キャンパス（ビジネスマネジメント学群、経営学学位プログラム、国際学術研究学位プログラム（経営学研究領域））、東京ひなたやまキャンパス（芸術文化学群）、プラネット淵野辺キャンパス（教育探究科学群、公開講座）、千駄ヶ谷キャンパス（グローバル・コミュニケーション実践研究学位プログラム、大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム、大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム、老年学学位プログラム、公開講座）、多摩アカデミーヒルズ（多摩キャンパス）（航空・マネジメント学群）などがある。



桜美林大学スポーツフェスタ 2023

学生数は、大学院が 238 人、大学が 10514 人など合計 10771 人である。このうち女子学生が 6 割近くを占めている。

現在の学長は、畑山浩昭氏である。桜美林大学文学部卒、ノースカロライナ大学シャーロット校大学院修士課程修了、同大学グリーンズボロ校大学院博士課程修了、マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了 (M. B. A.)、2006 年桜美林大学教授となり、学長補佐、基盤教員院長、国際センター長、副学長を歴任し、2018 年から第 5 代の学長に就任。専門はレトリック学である。

日文：滝川進

写真：桜美林大学 HP & FaceBook